操作説明書

CMB-1201

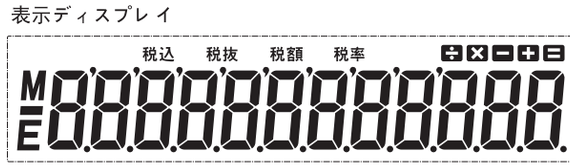
操作キーの説明

ON C・CE	電源オン、クリア 、クリア エントリー
MRC	独立メモリーに記憶されている数値をリコール（呼び出し）するときとクリア（削除）するときに使います。 ◇一度押した場合は、記憶された数値をリコールします。 ◇二度押した場合は、記憶された数値をクリアします。 ※メモリーで積算された数値は、【ON C・CE】キーではクリアされませんので、必ず【MRC】を二回押してクリアしてください。
M+	メモリー ＋（表示された値を独立メモリーに加えます）。
M−	メモリー －（表示された値を独立メモリーから引きます）。
+/−	符号入替（表示されている値の符号を正負入れ替えます）。
00	一度にゼロを2桁、「00」の入力ができます。
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9	数値を入力するときに使います。
•	数値の小数点を入力するときに使用します。
+ − × ÷	加算・減算・乗算・除算をするときに使います。
√	平方根
%	パーセント
税率	税率設定をするときに使います。
保存 税込	◇税込み計算をするときに使います。 ◇入力された税率を変更・保存するときに、【税率】キーの次に押して使います。
呼出 税抜	◇税抜き計算をするときに使います。 ◇入力された税率を確認（呼び出す）ときに、【税率】キーの次に押して使います。

表示部の説明

表示ディスプレイ	記号名	説 明
,	カンマ	3桁取りのカンマ
.	小数点	【小数点】キーを入力するか、計算に余りが生じた場合などに表示されます。
M	メモリ表示	独立メモリーマーク
−	マイナス表示	数値が負数になったときに表示します。
E	オーバーフロー	結果が表示可能桁数以上になった場合に表示します。

表示ディスプレイ



操作例

① ON C・CE 電源オン、クリア 、クリア エントリー

② 液晶表示画面に、「M」が表示されていないことを確認してください。表示されている場合は、前の計算のメモリー計算が保存されたままです。【MRC】キーを押して数値をクリアしてください。

③ 演算命令【＋－×÷】キーを押したあとは、数値の訂正はできません。

計算例	キー操作	表示ディスプレイ
100＋50－30＝120. (-10)×20÷0.5=-400.	100 + 50 − 30 = 10 +/− × 20 ÷ 0.5 =	120. -400.
12.34 34.56 −56.78 78.90 69.02	12 • 34 + 34 • 56 + 56 • 78 +/− + 78 • 90 =	12.34 46.90 -9.88 69.02
√9×5=15.	9 √ × 5 =	15.
10% of 1500 ＝(1500＋10%) 5% add-on of 1500 ＝(1500＋5%) 5% off of 1500 ＝(1500－5%) percentage of 20 against 500	15 00 × 10 % 15 00 + 5 % 15 00 − 5 % 20 ÷ 5 00 %	150. 1575. 1425. 4.
368＋97＋97= 839－47－47－47= 5^4= 5^3=	368 + 97 = = 839 − 47 = = = 5 ÷ = = = 5 × = =	562. 698. 0.008 125
12×4－20÷2=38	12 × 4 M+ 20 ÷ 2 M− MRC =	M 38.
456＋378=	456 + 378 ON C・CE 378 =	 0. 834.
●消費税計算 ＜消費税率の設定＞ 税率が「5%」の場合	5	5.
	税率	税率% 5.
	保存 税込	税率% 5.
＜消費税率の確認＞ 税率が「5%」の場合	税率	税率% 0.
	呼出 税抜	税率% 5.
＜消費税込み計算＞ 商品価格が100円で、税率が「5%」の場合	1 00	100.
	保存 税込	税込 105.
＜消費税抜き計算＞ 商品価格が100円で、税率が「5%」の場合	1 00	100.
	呼出 税抜	税抜 95.238095239

オーバーフローについて

次のような場合、オーバーフロー（E）が表示され、そのあとの置数や演算が停止します。【ON/C・CE】キーを一回押して、オーバーフローを解除してからもう一度、置数や演算を行ってください。

演算の結果の整数が12桁をこえた場合	12,345,67890 ×1,234 ＝1,523,456,776,260	E=1.52345677626
除数が0の除算を行った場合	1÷0=0	E = 0.